**三ツ滝**

三ツ滝は下呂北部、飛騨小坂にある三段の滝です。水が滝の上を流れ、合わせて 22 メートル落下します。中段の落差が一番大きく11メートルあります。中段の横の岩壁には小さな空間があり、修験者の信仰を集める不動明王像が安置されています。民間伝承によると、有名な僧侶で彫刻家の円空 (1632年-1695 年) がかつてここで瞑想したとされています。この空間は「瞑想の岩」（座禅岩）と名付けられました。

三ツ滝は約 5 万 4千年前の溶岩流によって形成された地形を廻る 5 キロメートルの環状遊歩道にあるいくつかの観光スポットの 1 つです。遊歩道は巌立公園からスタートし、玄武岩層や多くの滝を通って巌立公園で終わります。厳立公園から三ツ滝までは10分です。遊歩道を1周するには約３時間かかります。